禁裏御所御用日記

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

302

大正
6. 4. 13

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

宝暦二十申年正月大
二日

十四日
一 大くら御茶内お蔵出帳ち物の例

十五日
一 御寺々茶之極月廿日迄御用帳にて御紙は
し明る御帳ともに差上候別にて候て候ハヽ其上ニ茶にて
御ニ御沙汰ニ而いたし候て正月ニ御帳ともに[illegible]
其外御用之諸帳にし[illegible]
御帳ともに[illegible]
御そらして候こ

十六日
一 十二月御勘定帳并御内御印判御勘定帳合二冊請取候て茶
入く出シ候帳今日前々之通御用御蔵

廿六日
一 御寺々茶之御勘定帳二冊御茶茶屋衆へ相渡ス

晦日
一 御寺々茶之一両年開帳寺御茶請取候御沙汰之御用書付[illegible]

二月八日
一 正月分御勘定帳一冊并ニ高書御済茶屋衆へ請取候
請取候之

一 御寺々茶之極月廿五日迄御勘定帳開帳寺開帳ニ付御下
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 金閣寺開帳当月十五日[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

御役所筆一張相備候旨申聞候ニ付御修理方
之様ニて相備候ニ付申上置候様被存候ニ付進上ニ仕候様ニと
相成候よし委細承知仕候

十七日
一 右御幕相備候ニ付金御修理方へ遣ス、相渡候旨承り候様申
遣し候ニ付御修理方へも備ル、是ニ而御目出度様ニ付候
候旨御沙汰之筋有之候間右之趣を以御内々旨ニ

廿七日
一 御修理之様子伺書所司代へ今日十六日武家伝奏之御届
加之候ハ、右之儀ニ付御修理方之義御届ケ可致旨
申聞候ニ付御遣例之御修理方へ申遣候様御内意も有之
御沙汰之段申上候処、御内々ニ而御修理方へ申遣

之御修理方より右之趣伺書ニ付御修理方へ
御修理方大工御小屋掛ケ之儀ニ付相伺候処御修理方へ
申上候儀ニ付ケ之段御沙汰ニ付候ニ付ニ付御返答
可申候旨承り候ニ付相伺候処ニ付
右御修理方へ申遣候処、早速御修理方へ申
伺書ニ付御修理方へ差出し候様
可致旨申聞候ニ付御修理方へ遣候様申聞
て、右之御修理方へ伺書差出し候様ニ申付候

三月大
四日
一 御修理之義ニ付御届ケ可致旨之儀
御修理方より申上候ニ付御修理方へ御沙汰

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

一御前ニ上ケ候御札持参ニ而御礼申上候　広橋殿

四月朔日

一播磨守殿ゟ高御所御附衆を以御用番参上播磨
守殿へ宮ゟ御達ニ付播磨守殿も同道ニ而参上
候て御肴鯛一折・御菓子一箱献上御目録御請
取ニ而候、左様ニ宮ニ而も上藹ゟ外ニ御返書
御使ニ而ニ申上候、播磨御用并ニ御申上候御
女中御附衆へ御渡ニ付其外ハ右之通ニ候、宮御
所御台所ニ而御対面之節御目録御渡之処
御上宮様ヘ宮御方ニ而御返書ニ而御申上候
ニ付右御使ニ而相済候事

三日

一上藹ゟ御用番へ文ニ而　光格院宮様ゟ上藹ニ而
御使ニ付右之段申上候ニ付御用番ニ而御請申上候
宮様御用ニ付御用播磨守殿ニ而被仰付候ニ付
只今御用ニ付御断申上候事書付ニ而申上候

一同日御手紙ニ而今日播磨守殿宮へ罷出候ニ付
右之趣御達之様御用番ゟ相達候事
右之通申上候

一九日
三月分御勘定帳一冊差出候ニ付御用番ゟ奉書
御勘定所ニ而勘定相済候

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

十六日
一 いろは之御知恵之帳一冊今日[illegible]一條殿[illegible]に而代参
[illegible]御寺[illegible]

十七日
一 伊勢多賀両社[illegible]上[illegible]信[illegible]
書面[illegible]

十九日
一 御寺[illegible]
[illegible]

廿日

一 御寺[illegible]
[illegible]

廿一日
一
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

右両人今日恐悦御對面ニ仰付候ニ付清水中将殿御出ニ付而
今日之儀者御届御座候ニ付御届申上候ニ付右之段被仰聞候
以上御同役ゟも右両人之儀御届申上候趣御承知被成候
両人御用懸り之儀御届申上候処御承知被成候旨
御承知被成候旨被申聞候

八日
一　七ツ時御使院御殿御門前ニ而御通り相済候ニ付
右之通り御所へ御礼ニ罷出候

御文二通　一ヶ所ニ御下ケ被成
右者追而御返し御月番へ参り候様被仰付候ニ付
御所ゟも右御礼ニ御使被下候
掛り御用相勤候ニ付御礼ニ罷出候

右書面之通り両人御請申上候

一い　四月分御勘定帳一冊相済候ニ付書付を以差出候
御勘定所へ被差出候ニ付御請申上候

一十二日　御賄方御用之儀ニ付御目付衆へ
長田越中守殿御差図ニ而御勘定奉行へ
之御用向之儀申上候ニ付御賄方
御届書付を以申上候

二ヶ年之御入用之儀御差出ニ付

一廿日　官禄之年来之通り例之通り御渡し被成候
二月分御賄方ゟ右御料理御晩御膳之通り被差出候

外ニ御師ゟ百疋ツヽ相渡ル

白銀弐枚　晒布壱疋　　生駒元統、

金子三百疋ツヽ　　藤本右兵衛、

同　三百疋　　石田三位

右之通ゟ今月廿一日ゟ百疋ツヽ代官清閑寺御用

三人同ニ通り候御門ゟ三宅右衛門白扇ニ御渡

我等へも別段ニ御借し

五十六
一 今晩御伝法御頂戴被為在候ニ付御門跡御入候

[illegible]

右ニ付御手当下され候而御用下され候

ニ候得ニ付右之通り申上候処候段

ゟ何も御座候而御伝授之御用ニ付候

又御通之通り御座候御当番御用相済

候

六月廿日
一 御当番ニ付御用御座候御用御座候ニ付

先日御所司代御付衆御用御座候ニ付

御座候而御用ニ付御座候

御座候

七日
一 五月分御勘定帳一冊并諸帳面写ニ書付御渡

此度御借用足文利之御寺西ノ方銀此四百目案此
被仰出候ニ付御修覆料御勘定様一冊足文[illegible]
差出し

十日
一 右御勘定帳二冊 出来候ニ付 一統ニ持参 取次ニ而
取集め置候て 夫々銘々御名前の[illegible]

十三日
一 御寺より参り候 別紙御用も記し 帳面持参致候

廿三日
一 御寺より参り候所 此度掛合勝手方請取 当月中書付
之義 御取立 差出し候 右ニ付[illegible]

廿九日
一 此方より御借用銀七百五拾目之利足五十三匁九分 足文
新証文一通 右御勘定帳 御寺 [illegible]

証文引替 右者先々御[illegible]
[illegible]証文之[illegible]御借用[illegible]
五[illegible]御寺 御勘定所 帳面ニ差出し

一 銀四百目 利[illegible]
右未十二月より[illegible]
[illegible] 証人 [illegible]川[illegible]
[illegible] [illegible]

十二月
一 元銀[illegible]
右未十二月[illegible]利銀[illegible]
[illegible]

一 元五百目 利[illegible]
右未十二月[illegible]
右[illegible]

八月八日
一 七月分御勘定帳一冊右京大夫殿江差出候ニ付御所
御役所江為持遣候処、後日請取可申旨ニ而、右御勘定帳
受取書来ル

十五日
一 御寺ゟ之諸届書差出候処、御請取被下候事

十六日
一 去ル未年七月ゟ当申ノ六月分一ヶ年御勘定帳二冊
出来ニ付右京大夫殿江差出、御役所江持参候処、御目
通ニ而御納戸印二冊之内一冊ハ御留置
返し被下候事

九月廿九日
一 御寺ニ而御対面上臈御同役御出之事

十六日
一 昨日御所御用御祝儀御目録被下候ニ付
長橋殿ゟ御文ニ而、右御礼申上候事
御返事ニ而御礼書差出申候
宗諄御方ゟ御文ニ而長橋殿御礼申上候
御礼之儀御心得置候事

一 清浄院御逮夜ニ付、廊下へ参り御香料差出候事
清浄院御引揚之事

十七日
一 八月分御勘定帳一冊銀子御用御請書差出候事

御用ニ而出候ニ付右之通相届候ニ付

一 御所御修復御普請被仰出候ニ付武百俵
御預り之節ゟ家司共ゟ無是非書付差出
置候ニ付右ニ付御修復ニ而相渡候様ニ被仰
出候書付御請取候ニ付御届申上候
[illegible]

右之通

一 此度
御所御修復御普請被仰出候ニ付
御家ゟ御普請被武百俵御預り之節
此後宣旨ニ而御請取之次第

宝暦二壬申年九月　宝鏡寺宮御内　吉田出雲守

右西ノ内張紙ニ御認候

一 右御預之長橋局へ九月十六日ニ差入置候所御修理料ニ而
御所御修復御普請之分取計可申候旨被仰出候
ニ付右御請取候

九月十六日

一 右御預書一通今日御所御修理料之御普請被下候
長田江申渡候御修復御届申候

一 八月御勘定帳一冊差出候ニ付右出雲守ゟ御修理料

右者焼失ニ付人足之御扱ニ付書付差上

廿九日

一　清荒神遷宮之内御文庫并御材木遣方ニ付願

有之候ニ付御目録差上候御取解御用木之儀ニ付奉願

書付并ニ御のやせ之様ニ者右ニ付之ニ付御材木之儀ニ付

文庫三十五坪前二口　但二階

十月四日

一　御廊下御取解一式入用高銀三百匁余　吉兵衛ヘ申渡

仕出方御用書付之通ニ付右其外之儀ニ付之遣候之

御本丸御出来御用之儀申付候

丁寧ニ御請致候

十六日

一　御苗字之儀前月仰出之儀ニ付御廊下ノ内

内ニ而御用之儀ニ付御取扱之儀

病気ニ付御断之儀申来候

日々御用之書

一　九月分御勘定帳一冊　当方御用所書付ニ付

右御所へ届遣ス

十五ケ所
一 九月廿八日紫宸殿一冊十三日御所被仰付候御修理
右ハ当年今ノ所御修覆之御修理被仰付候ニ付御修覆
出来候事

十六ケ
一 実検方様御修覆御所御修理被仰付候御修理

十七ケ
一 元銀弐貫弐百廿九匁 利九十八匁七分 一刻定
右当七月廿九日六月迄御修覆方加利入足之分并
当上納方元利共御修覆方御修理御払上ケ
證文入置候

十八ケ
一 先達而御修覆御所御修理料枚弐百拾御修理

之通り御修理被仰付候御修理方中ニ而候今
御所御修理方長崎御用御修理
之事先達而被仰付候御修理御修理方
御修理御修理被仰付候御修理
御修理御修理御修理御修理

一 右ノ通御修理被仰付候御修理方下働 小堀左兵衛
遣シ御修理被仰付候御修理方

一 右御修覆枚御修理被仰付候御修理御修覆
御修理被仰付候御修覆方御修理

一 御所御修理御修覆被仰付候御修理

御寺々ゟ諸入之儀

一 十二月二日
宝鏡寺様ゟ御内々役御門主様ゟ御願之通ニ付、出雲守へ諸
色之通ニ而諸入用之儀ニ候ニ而
諸色古役之事
一 御蔵米役ハ三百俵
対面相渡之
右者 宝鏡寺宮江被為進候ニ付 書面之通
御被仰付候諸役中ゟ渡之
申
十二月
宝鏡寺宮御内
石山出雲守
中坊十左衛門殿

右宝鏡寺様ゟ諸事之通諸入用銀諸払之定之
三日
一 右諸入用今日於御所修理職荻野伊賀守御開
中坊十左衛門并ニ被相渡候
八日
一 先頃三条殿御普請所取計御用銀五百貫目御下ケ之儀今月ゟ
来酉六月迄之月割ニ而相渡之、当申十月ゟ九月迄
之分も極之延付可相渡旨、但町奉行所へ之書付
相渡之
一 御取替之儀、御手当之儀、両所ゟ御届之通ニ付、御所人
御所方之儀ニ付、諸色御修理入用之儀、出雲守自分
表書下役ゟ申達、右諸入用之儀、右之通
一 先達而三条殿御普請之儀ニ付、来申十月ゟ当申十月迄之分之月割

壱歩ツヽ利四月より九拾八ヶ月分御手当御掛屋より相渡候旨
京都御勘定所ニ而

十九
一 御寺ゝ家上様御所より御用ニ付、御法院御殿御手当三百両
来ル午年春ニ、右御修理之御用ニ付御[illegible]右候之旨
御達御殿御門より右御三郎下役ゟ御内御用出来候
[illegible]右御[illegible]方之通御願候

廿日
一 十月分御勘定帳一冊并銀札之分御書付御届出し申候
ら[illegible]御請取書差上

廿四日
一 右御勘定帳御調印相済御届出ニ付、御[illegible]方御承知御座候

廿六日
一 御寺ゝ家上御用ニ付、右[illegible]御残御[illegible]之通相済

廿九日
一 利銀二両四拾匁
右者御修理御用金之内、借用之方ゟ元銀式貫目ニ利銀ニ而
元銀之内御勘定元銀ニ而相済候右之通御
御勘定ゟ御差出ニ付借用方ニ而新規之御証文
請取之、右証文差上申候

川村様ゟ御断ニ付申来

十二月三日
一 右者修理方御入用金右之分、右之御[illegible]御届ニ付而
届ヶ置候[illegible]

八日
一 元銀七百目 元八十目 利銀二十八匁五分
右借用之分御返済之上、新規之証文六百八拾目之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

え弐
一 利銀弐百四拾匁　未十二月ゟ申十二月迄　西浜与右衛門
え七百匁
え入六匁
利銀六十八匁五分　申六月ゟ十二月迄　浜二屋[illegible]
え五百目
一 利銀三十匁　申七月ゟ十二月迄
右三口ハ十二月十四日御手当銀[illegible]、勘定所帳面ニ而
官私無之筈也
十七日
一 十二月分御勘定帳面毎度之通り御諸方銀諸払等有之筈也
但浜萬新蔵の事者書落也
十八日
一 右御勘定帳今日御印形并御附記、其御月之通り御手当
おわ
十九日
え弐〆匁
一 利銀百弐拾匁　申七月ゟ十二月迄　八木屋
右御役人諸払御手当五十匁之分奥[illegible]帳面ニ官私無之勘定所
[illegible]八月分[illegible]過帳ニ而[illegible]官私御渡勘定所　[illegible]
廿一日
一 銀百匁　申ノ十二月ゟ来酉ノ五月迄　手備人 浜年寄 流人 [illegible]
右手備銀之儀ハ利足割足流支浜方[illegible]之取扱ニ而[illegible]也
但流支之事[illegible]勘定所ニ而[illegible]也
一 官禄[illegible]遣例ニ而[illegible]御所[illegible]御所御
[illegible]百御神[illegible]御役[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

飛鳥井中納言殿ゟ今日御所ゟ右御勅使ニ付長文
御前ヘ上臈局ゟ御目録並御太刀代ニ而御内中ニ而
御従ニ付

廿四日
一 御年忌ニ付

宝暦三 癸酉年正月

二日
一 御年玉御礼ニ付 御所へ参内御出被成候左右

八日
一 御年忌ニ付御封印御目録御当番ニ付

廿九日
一 此年十二月御勘定帳一冊 足御内中御取扱勘定帳一冊
今日ゟ広京出入ニ付茂誠認被遊候ニ

廿六日
一 右御勘定帳二冊今日御所へ御所御年一統御出
三年御年忌之節之記録写書共

一 御所御触晦日御年忌之上臈局御目録 任例々
御所御勘定ニ而御文庫迄御渡ニ付相渡
二日御台所ニ而御用被成御渡ニ付
御表ゟ御年頭ニ付御門番御用之節
之日付之

二月九日

一 二月分御勘定帳一冊浜米の通ニ書付ヲ以左京ニ出ス
ら尋訳有之候

十七日
一 御小座敷御座ニ付植木代と申ヶ所ニ庭ノ樹木七株以今
の御座候

一 例之通収之御菓子包紙ニ付目録紙ヲ添
の御之紙包上包出ニ而御ニ而も知ニ付候
ここに而御れ候
春之乃
之ハ之而御用而御之の候
御之之候

十五日
一 二月御勘定帳今日御所御財務方御役所ニ申

御寺との御紙ヲ出ス候之候
十八日
一 御寺ニ御之御無之ニ而御下硯等之之ニ付
之之御れ候

廿日
一 四条院宮様御之京御之大儀ニ御出
公私之御入と御出而御役ニ之御無之
御之出而之御之之

一 院宮様之之御入之御之ニ遣
御入之之之之之御役御勤御廉之御

三月一日

一御寺ゟ差上候前座居候ニ付今ゟ二位局ゟ宮院宮様御写
同御後二ヶ御寺へ御差上候由申来ル
十日
一此ゟ位自院宮様御寺へ御写物ニ付懸物遊候ニ付左之通
申来ル
一此ゟ御寺 同ゟ而ゟ御写経御納候ニ付差上ル
御寺御由緒
一観世音薬師如来大破ニ付御修復御願有之候様
速ニ御寺御修復之儀御願之通被遊
被下置御修復ニ付御寄附有之候
此之儀ニ付御寺御由緒之通申来候

九日
一当月十二日中御門院様十七回御忌ニ付御法事
被下候ニ付今月十二日御法事被仰付候ニ付
御所ゟ御法事有之候ニ付御寺へも御法事御執
行之由御沙汰ニ付右之通申来ル
一二月分御勘定帳一冊差出候ニ付左之通
右之通御請取候
十三日
一右御勘定帳今日御所へ御納御所ゟ御請取候
の御返事ゟ申来候
十六日
一御寺ゟ差上候播州御用之儀ニ付

廿五日
一 此度大八ケ元気頭ニ而後学院御家来之由御部屋ニ而御学頭
部ヲ町口孫兵衛申上ル 道ハ不義ニ付下ニテ是非可然旨孫兵衛より
申聞候ニ付 私共ニ申上ル 平野専蔵差出候ニ付 此ニ申付候
然以テ右之品々相済候ニ付 以此度ハ月々ニも御挨拶
被仰付候ニ付 此ニ御沙汰ニ而御座候

廿六日
一 此後学院様ニ御出之節ニ付 孫兵衛ニ伺候所 御世話申上候ニ付
御挨拶ニ付 被仰付候ニ付 申入候ニ付 此度ハ月々ニ而御
寺ニ家之様 前々通 御参 暫時御酒被下候

御酒一樽
　近藤三郎ヘ

御使番
　町口孫兵衛
御使者
　松宮口藤次郎
　島田孫之丞

右此之為御挨拶参らる様こと

一 新宮薬師坊弟之薬師坊様上京ニ付 御届ニ付 而申上候
御差出 御参殿ニ付 右之通月々ニも相成候ニ付 参上
御参殿挨拶也

四月十六日
一 今日後自院官様御成ニ付 御出之所 此ニ付大京出張
右人ニ申付 参上ニ付 御沙汰ニ付 右人ニ申付候
右人御断申ニ付候

廿四日
一 三月分御勘定帳一冊 并 御用書付 并 当月分
諸紙之上 文化四月 諸時御後学院之御勘定帳一冊 ホ

来人請取置之

一 四月十九日
御寺〻宗〻拵前座候出金御用向之節御用向候ニ付
取候

廿二日
一 此間之通御勘定二冊 今日[illegible]差出ス

廿八日
一 今月分御勘定帳出来ニ付御掃除並今日[illegible]出雲[illegible]
[illegible]

廿九日
一 御寺〻宗之九条諸入用[illegible]

一 銀弐メ目 内
[illegible]御納[illegible]
[illegible]御[illegible]
[illegible]

右利[illegible]之通文御寺[illegible]請取置[illegible]
[illegible]四月分[illegible]月[illegible]

五月分
一 御寺〻宗之御対面[illegible]

十日
一 四月分御勘定帳一冊 [illegible]書[illegible]
[illegible]請取置之

十七日
一 四月御勘定一冊御[illegible]一[illegible]
今日[illegible]書[illegible]

廿八日
一 五月御勘定帳出来ニ付御掃除並今日[illegible]九条出雲[illegible]
御下[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

六月六日
一 御寺ゝ差上八ヶ年大〻古利銀八十五匁〻と帳面ニ結返
方ニ取次候而差出候出雲殿ゟ差越し

七日
一 御院一品宮様ニ而御服服出〆九ヶ年之為伺御
機嫌参上

八日
一 五月分御勘定帳一冊并銀米入用之書付添遣ス
〆右銀請取差越し

十日
一 五月分御勘定帳今日御所御役所へ差出御用之儀
差越御寺ゟ御出雲殿ゟ書付来ル

十九日 未刻ゟ四ッ時入
一 右御用御機嫌伺之為参上

廿六日
一 銀百匁
右申十二月より酉五月分利銀六百目之内
〆右取替書付来ル十二月分御伺済利銀相渡
之御勘定ニ而差出
下書
請人 梅原
預人 河平
七月三日
一 御寺ゝ差出候得共河平梅原利銀之内
元入之梅原平兵衛殿へ相渡
八日 元六百八十匁
一 元入拾匁
酉十一月より七月迄
利銀之拾弐匁五分
十月十八日ニ相済

右質屋共流質書付遣し預ニ致し

借り主 伊丹傳兵衛　流人 新五郎

八分
一 銀弐貫弐百六十九匁　但利足共割合ニ積り候而十月廿四日迄 弐口〆九匁九分
申十二月ゟ閏 右利銀百四十六匁五分ニ而若上納元金ニ致し書付取
一ヶ年分 申十二月ゟ閏六月迄八ヶ月分利足ニ七月十六日ニ相渡ス

一 元六百匁 利銀三十匁 但同六月ゟ閏六月分
七月十六日ニ相渡ス

右三口ゟ利銀七月十六日御年寄衆へ相渡し候而相済
来ル申年ゟ惣而書入候品 右割合ニ致し相渡し候様
申付置候

十五日

一 御本丸御前向 御召ニ付
御目見御礼御届之儀
右之通ニ付
太刀金利銀…
ニ付…御渡ニ付…

十六日
一 六月ゟ御勘定帳一冊 并張紙之書出
一 中元御祝儀并御内中御祝銀帳一冊
右帳面…

十七日

一 准后宮院宮様御振袖御召御帳出シ 冷泉殿當番ニ付
上ゟ御献上之千宗室ゟ百御茶献上ニ付御前入
御覧ニ付 自分ゟ百御茶献上ニ付 准后宮院様御
対面ニ付 仕舞候處御寺ゟ御前ゟ御世話ニ上ル御紙包
云々ニ付御目録ニ付 右帝王ゟ御目録出ス
成則ゟ遣ス
廿四日
一 御寺ゟ参上権大納言殿御目見ニ付御歳暮御肴ニ付御
悦申上ル 其御自分御目録差上御礼申上ル
一 六月分御勘定帳并先御役所御勘定ニ付今日御所ニ御持
参御渡ニ付御断

一 准后宮様御召ニ付 小御所御礼ニ付参上 今朝
山科御召御参上 参上
廿七日
一 御寺ゟ参上権殿御対面仕候ニ付丸条殿へ
八月 日
一 御寺ゟ参上御対面仕候ニ付
廿八日
一 御寺ゟ参上今日ニ山科准后宮様ゟ御礼出ル
御対面仕候
十二日
一 七月分御勘定帳一冊 九条殿ゟ 御差出ニ付

十三日
一 右勘定帳今日相済候ニ付御届申候事

一 御寺々方之積御勘定、今般御用蔵屋敷ニ而御銀
借り渡し候旨申入候事

十二日
一 右勘定帳今日御寺々ゟ御返却ニ付、請取書ハ前ニ有之
東ん

一 判金三枚 并銀三〆目 但シ金一枚銀三〆目ツヽ奥御用ニ付
右御借渡ニ相成候得共今ゟ御所蔵田藤兵衛殿ゟ御蔵屋敷
ゟ借渡候而ニ而流文出来候ニ付右御銀ハ皆相渡 手形ハ
四日以後ニ受取候事

廿四日

一 蔵屋敷ゟ御借銀流文所田藤兵衛ゟ今日請取
御証文ゟ差入候之事
銀合三貫七百三拾三匁
内
七百三十三匁 判金三枚代
右之御銀
寺々方請取御用銀ニ而証文ニ入ル
月々元利返済之定ニ而一ケ月一朱之
代々御下リ一ケ月壱分ニ而流文
上納

宝暦三酉年九月

錦織左京殿

右ハ出雲守殿

右御銀之御礼是月八日之内定也

表書之通相違無之候以上

右代

嘉や　平三郎

与兵衛

加茂雅楽

行地刑部

庄田三十郎

十五日

一 御所之前之右御代銀済候ニ付御礼上藤へ参ニ

参候ニ付出雲守殿へ御礼申候

一 去申ノ年分御免御所御用帳一冊并諸事諸払勘定帳

二冊御勝手方御渡シ候ニ付御所御前之諸事御改人成

戴候帳面へ右御印御書出雲守殿御改候

御勘定帳二冊之内一冊御書替

、尤京都之御勝手方ニ而御算用帳之

三人ノ名前ニ而御所御用帳并勘定帳一冊ハ御所

ニ而候ニ付其月十六日ニ相済御書付ニ而請取書差出

候申合之候

九月三日

一 御所御前之分ニ而御所御勘定之内御用之

之元帳ニ付而於相済候

一 九日 当番御礼并ニ御対面御日限ニ付

一 十六日 八月分御勘定帳一冊 并諸払米之方書付差出

右ニ付今日参上

一 十三日 当番若入来ニ付御帳面御年代官へ

御渡ニ罷成候ニ付御渡之返上ニ付

一 十七日 八月分御勘定帳今日御所御用掛へ御渡相済候ニ付

右勘定帳ニ付御年寄衆へ相渡ス

右書付

一 廿五日 従宝暦二壬申年七月同三癸酉年六月迄

月掛銀并御飯米勘定帳二冊

右勘定帳差上候 掛方役所利左衛門ニ差上 冊ハ勘定所

ニ差遣し 差上之冊ハ前日ニ相渡シ置候ニ付

帳面冊ハ右ニ付次第今日御奉行へ相渡

十月十一日

一 九月分御勘定帳一冊 并諸払米之方書付差出

候左衛門ニ差出相済候事

十三日

一 御奉行様ゟ 御前役所ゟ 御渡

口上書相添候 御代官百姓共ゟ 若年寄衆ニ付候

此外之儀ニ付候 右之儀ニ付申来候事

以人在之書面ニ而御懸幸ニ付御のゝ文ん以御序し候上人へ相渡し

十四日

一 九月分御勘定帳弐冊御附衆へ御渡し御所ニ而今日まて持参

出来候て御頼御帰の由也

十五日

一 今日御頼衆附御蔵奉行出来 御用無之 御附ニ而上之出来

十六日

一 十月分御勘定帳一冊 并御賄米の月分書付持参

今日御常出来ゝ付御膳所御賄出来之由

十九日

一 御幸之様相房 書御月所出来御候

御所へ御奉書之御出来候御所ニ而候へ御膳所出来

二十日迄之由ニ付御候て出来

十二日

一 御附衆御内御賄方帳面御渡し御利帳中書上之帳弐冊

出来御賄之御頼之御利中御頼長田越中守

へ御渡し申事ニ付御御勘定御頼御用

御用賄之候利帳書御渡之御所御用出来

御頼ニ而御渡し申候

十三日

一 御勘定帳一冊御附衆へ御渡し御所ニ而今日御渡之処是ニ而御

出来書付之帳面之月分ニ而御所へ渡し申候

十六日

一 御幸之様相房御出来御月所之遣候御候

様御候御内御内御出来候て御内御渡し御奉行

出来御用之御候御所へ御内御頼出来御用へ

ニ付御同役衆へ諸方へ申入候得共御聞入無之ニ付
私書付差出し候処御聞届ケ被下候ニ付
右之書付差出し御聞届ケ被下候以上

大宮
一 元銀弐貫目　此利弐百四拾目　但シ申ノ十二月ゟ酉十二月迄
右利銀御渡被成下候様ニ願上候　右川村由右衛門殿
請取之新借之利銀御渡被下候様ニ元銀酉ノ十二月迄
借用致し候証文ニ御座候

北ノ
一 上﨟様前々ゟ御借用之分御預ケ之前々借用之分
今日ゟ十ケ年賦

十二月三日
一 妙寺へ差上候分年延滞之儀ニ付利足弐百
四拾目弐新借証文御渡し被下候様ニ御頼
申上候

一 銀六百目
右元銀百目利足之儀六月ゟ十二月迄元銀五十目
右者借用之新借証文元利証文ニ
相済候右利銀證文御渡被下候様御頼申上候
申入之通御聞届ケ被下候以上

一 元銀弐貫三百九十目利足百四十七匁五分
但シ六ケ月分　御用掛リ

右ハ去ル亥十二月迄ノ利銀元金書替證文ニ相済候ニ付

拾六

一 元銀六百七拾匁 内 元入拾匁 差引 残り三百六拾匁 十一月ゟ利銀

右ハ同三ヶ年分ゟ書替證文相済候ニ付

一 十二月ゟ御勘定帳一冊 御米の高書相渡 尤京へ

差紙請取置候事

十二月十六日御米取京へ渡ス

少済候ニ付御備ニ候事

十六日

一 元銀弐貫目 八十月ゟ 利銀八貫目 但し證文書替ニ付

一 元銀五百目 六ヶ月ゟ 三十匁 ゟ

一 元入拾匁 利銀 三百六拾匁 残り 済

一 元弐貫五百九拾匁 六ヶ月ゟ 四百七十五匁三分九厘

伊丹済也 済

右ハ利銀御寺ニ御米 新規元金 證文書替 御勘定帳面ニ

前月證文請取置候ニ付

一 銀弐百目 利銀 右十二月ゟ 戌十二月迄

右證文 元金 御預ケ申候 内 御勘定

借主 梅 請人

番所御中語を請済ん

十九日
一両替之者上嶋屋宗兵衛月判金三枚出
御[illegible]以[illegible]如[illegible]ニ而も[illegible]一円下[illegible][illegible]語[illegible]候
右判金三枚御所勘定所[illegible]之者代銀七百四拾五匁
ニ[illegible][illegible]ら[illegible]銀請[illegible]之

廿日
一右判金代銀御渡[illegible]流[illegible]候[illegible]
一判金三枚
　宗兵衛[illegible]預り之事

代銀七百四拾五匁
　但判足ニ而割[illegible][illegible][illegible]
　[illegible][illegible]月[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

右
宝鏡寺様御用被仰[illegible][illegible][illegible][illegible]宝[illegible][illegible][illegible]也御用ニ
[illegible][illegible]御時[illegible][illegible][illegible][illegible]代[illegible][illegible][illegible][illegible]流[illegible]依[illegible]
如件
宝暦三癸酉十二月
　　　　　両替[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]
　　　　　[illegible]　伊丹屋[illegible][illegible][illegible]
　　　　　　請人
　　　　　　　新[illegible]郎
　[illegible][illegible][illegible][illegible]
　[illegible][illegible][illegible]

御寺々御寄附出入之儀是迄之通被仰付候也

宝暦四甲戌年正月

一 三日御礼ニ参上、御対面御口祝御盃被下、御盃頂戴

廿日
一 十二月分御勘定帳一冊受、御家来御切米并御役料共勘定帳

一 冊壱、銀出入寄帳弐冊入念相渡申候

十三日
一 御寺々参上、番頭へ御目録差上御祝儀
法隆寺御殿御役所之義ニ付、十二月分勘定御下知
時分宜候ニ付、海会寺申談右御役所ニ而不残
相知候様申達置候

十八日
一 十二月御勘定、旧年中御役所勘定帳合一冊御預申候
一 従御蔵御年々の御出納書付之儀ハ追而申上候

廿九日
一 去冬法隆寺御屋敷御修理之儀、去年中ニ付而御達之
趣ニ付御上様より御沙汰御座候而、御用掛方へ申上候
寺之御礼被申年月五日ニ付承知仕候、尤ニ法隆寺御役所へ

[illegible]御所[illegible]
[illegible]候

一 [illegible]正月[illegible]
[illegible]

中使番[illegible]

十二月[illegible]
一 正月分勘定二冊[illegible]
[illegible]

一 右勘定帳十二月[illegible]
[illegible]御用[illegible]

九日
一 御文庫[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

淺虎御用相ニ付増枝ニ付 角わ[illegible]一ましく
ねニ付なされ候よし

廿四日

一 今日御文庫御上棟ニ付右京上二階より淺飯御沙汰
料理あり

一 鳥目三貫文　大工 普請へ

一 同 二百文　其外ニも[illegible]へ

右御役所より出雲守ニ渡ス[illegible]

廿五日

一 [illegible]之帳一冊御勝手[illegible]御所方

一 [illegible]ニ付御寺[illegible]書
事也

廿六日

一 [illegible]御修理[illegible]御治定ニ付御[illegible]
[illegible]書[illegible]

廿七日

一 御寺之[illegible]御文庫[illegible]
[illegible]

三月朔日

一 御寺之御文庫[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

十日
一御寺へ参上、病気御伺ニ遣ス、
御代参仰付ラル、
一元月分御定帳一冊差出ス、
差引請取ル、
廿
一右御定帳ニ御印御加ノ為
五摂家へ差出ス、
一御代参ニ被仰付候ニ付、
仰下ラル、
仰ニ付、御台所へ
上ル、
御代参ニ仰付ラル、
十一日
一御寺へ参上、病気御伺ニ遣ス、
御代参仰付ラル、
一御定帳ニ御印御加ノ為
五摂家へ差出ス、
一御代参ニ被仰付候ニ付、
仰下ラル、
仰ニ付、御台所へ
上ル、
御代参ニ仰付ラル、
十二日
一御寺へ参上、病気御伺ニ遣ス、
御代参仰付ラル、
一御定帳ニ御印御加ノ為
五摂家へ差出ス、
一御代参ニ被仰付候ニ付、
仰下ラル、
仰ニ付、御台所へ
上ル、
御代参ニ仰付ラル、
十三日
一御寺へ参上、病気御伺ニ遣ス、
御代参仰付ラル、
一御定帳ニ御印御加ノ為
五摂家へ差出ス、
一御代参ニ被仰付候ニ付、
仰下ラル、
仰ニ付、御台所へ
上ル、
御代参ニ仰付ラル、
十四日
一御寺へ参上、病気御伺ニ遣ス、
御代参仰付ラル、
一御定帳ニ御印御加ノ為
五摂家へ差出ス、
一御代参ニ被仰付候ニ付、
仰下ラル、
仰ニ付、御台所へ
上ル、
御代参ニ仰付ラル、
十五日
一御寺へ参上、病気御伺ニ遣ス、
御代参仰付ラル、
一御定帳ニ御印御加ノ為
五摂家へ差出ス、
一御代参ニ被仰付候ニ付、
仰下ラル、
仰ニ付、御台所へ
上ル、
御代参ニ仰付ラル、
十六日
一御寺へ参上、病気御伺ニ遣ス、
御代参仰付ラル、
一御定帳ニ御印御加ノ為
五摂家へ差出ス、
一御代参ニ被仰付候ニ付、
仰下ラル、
仰ニ付、御台所へ
上ル、
御代参ニ仰付ラル、
十七日
一御寺へ参上、病気御伺ニ遣ス、
御代参仰付ラル、
一御定帳ニ御印御加ノ為
五摂家へ差出ス、
一御代参ニ被仰付候ニ付、
仰下ラル、
仰ニ付、御台所へ
上ル、
御代参ニ仰付ラル、
十八日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

一 三月廿五日 但シ内侍所御神楽ニ付 仕丁二人
　但シ拾五人ツヽ

三月廿九日
一 金子拾両 但シ去酉ノ分ヲ以テ御返済
　右借用候ニ付金子京都御用達大工頭へ
　出シ候分御返シ被仰付候ニ付出シ候人々日記ニ
　上申候例ヲ以テ御添書差上申候

四月五日
一 御本丸様御別所ニ付御修理被仰付候間

十二日
一 三月分御勘定帳一冊ニ致シ錺等書添差出申候
　人々請取ニ而差上申し

一 造作方百三十匁小普請方ニ而御修理寺院方
　御前御用ニ付滞候ニ付差上申候

十四日
一 御本丸御寄附ニ付御普請方御入用被下置候由ニ付
　御勘定所へ申上候

十八日
一 三月分御勘定帳御所司代江御差出シ被成候ニ付
　御本丸ヨリ御別紙ニ而

廿二日
一 御本丸ニ上京候様御用ニ付格別御用之節御寄附被下置候

廿六日
一 御本丸之御入用ニ付御所方御普請ニ付御出来候分
　御用向之儀ニ付御申上候
　此度御用

廿八日
一 御本丸之御所方御普請ニ付御取調候御所司代御出ニ付
　下申上候

五月五日

一御寺ゝ言上高之御役御上ケ申上候ニ付御断被申上候由也

八日
一四月分御勘定帳一冊銀米両方高書付添石京へ可差上
　添遣候事

九日
一御寺ゝ言上検刈御用ニ付伺候様申来由也

十七日
一御寺ゝ言上御前ゝ廿石本願ん相済候ニ付申上候由也
一此方ゟ御勘定帳今日御所御渡被成候処　一通り請取
　外ニ午御年分九ヶ月分[illegible]帳一冊書付

六月十一日
一元銀[illegible]〆[illegible]九十九匁　利足百四拾七匁
　此利卯正月ゟ五月分　但二分　[illegible]
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　伊丹播磨
一元銀七百四拾匁　利足[illegible]
　此利正月ゟ五月迄[illegible]
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　石川人
　右[illegible]口書[illegible]文[illegible]御[illegible]
　[illegible]

十二日
一五月分御勘定帳一冊　并御[illegible]書付添
　右勘定帳十三日御所[illegible]

十五日
一御寺ゝ言上御修覆ニ付[illegible]村[illegible]大明神[illegible]及大破[illegible]
　元禄[illegible]村[illegible]御修覆料[illegible]
　[illegible]

廿四日
一 御寺より御前へ百疋ずつ御伺御申上ル 上臈申上ル
御法事ニ付御くしあけ被成候
一 法事御経料として銀子壱枚御寺へ被遣候
一 右之通御法事相済候ニ付御寺ゟ御礼申上候
廿六日
一 御寺より御前へ御伺申上候 上臈ゟ利銀之儀申上候 御勘定
相済候ニ付御内証ゟ差出し候 上臈へ相渡し候
廿七日
一 御寺ゟ御前へ御伺申上ル 御断之御返事 上臈申上ル
三月ゟ今ゟ銀子弐貫目勘定相済候 大分之借銀ニ付 上臈へ返し
右ニ付十月迄御延引之事ニ候 利銀之儀相断候
廿八日
一 東寺より御前へ御伺御申上候 上臈御返事相渡ス

十日
一 元銀六百六拾目 之入拾匁 利銀平均八りし
右借用証文之儀ニ付今ゟ御寺へ預ケ置 奥へ差上候由 古証文ニ而引替
右之通証文書替也
一 元銀五百目 但利銀月八り 七月ゟ閏二月迄 八ケ月分
右ハ奥々ゟ勘定相済候而 奥ノ証文預リ置候
一 元銀弐貫七百六拾目 但利銀月七月ゟ八ケ月分閏二月迄
（但七月ゟ十月ノ利）
証文書替ニ而相渡候
荒木与市也
一 右
一 元銀百目 但利銀壱人当十二月ゟ当卯五月迄七ケ月分閏二月迄
証文ニ而書替
右利銀七月ゟ奥々ゟ古証文ニ而預り 荒木ゟ十五日書替之
仮手形ニ候

十五日
一御寺ゟ家来中嶋ニ而御役所へ罷出、御前ニ而御届申上候ニ付
上京致候ニ付右之段御届ニ罷出候

十七日
一六月分御勘定帳一冊　別紙銀米入用書
一中元御祝儀并御届銀帳一冊
一御寺院御扶持方取帳一冊　但シ酉ノ年分
一同銀米勘定帳　二冊
右者家来出雲守ゟ差出候ニ付受取置候事
右帳面之儀ハ御所御役所へ差出シ一紙ニ而御勘定ニ付此四日御寺院
役人共ゟ御届申出候　右帳面之内御寺院取米帳ハ銀米勘定帳ハ
小堀へ相渡し申候

廿四日
一御寺ゟ家来上京候ニ付御用之儀有之候

廿七日
一御寺ゟ家来上京届御用之儀有之候

八月朔日
一御寺家来上京ニ付自院宮様去月十六日御兵衛
江被仰付候ニ付御寺ゟ御礼　右方役人
太夫出雲守名代書付持参之儀ニ付御寺ゟも右御礼也
御役所へ差出之

一右之通小堀へ相渡候御寺院銀米勘定帳ニ例之通
二冊之内一冊ハ自分方ニ差置、尤家来出雲守ゟ右方へ相渡候
御事ニ付分ゟ自分方へ相渡候事
右之段出雲守へ申渡置候

十日
一六月分御勘定帳一冊并銀米入用書右者家来出雲守ゟ

以前御請書差上候

一 准后様御里御方御通り向ひ御枚方より御所へ出候
御所へ相廻し候処承知いたし候事

十六日
一 去七月より御勘定帳一冊書付御所御附御勘定所御賄方御預り候
年々御勘定帳の外御印形を以て帳面差出し候由書付を以て差出し候
但し右之御勘定差出し候

十七日
一 御所之内御手当銀三百五拾目御下げ被下候御請
御賄方御勘定所より御書付を以て申上候処御承知被成下候旨御勘定所より御達し有之候事
但此帳一冊者去ル十二月中御賄方へ御預り置候

一 先達而御修復御入用銀三百貫目余御所御勘定所へ
御届申上候事 右之通り相済候事

十八日
一 御手当之上籠御用向御用水御払被仰付候に付
御手當御用向書付を以御届申上候
御賄方御勘定所より御達し有之候間御承知被成下候
但右御用之儀者御手当御用向御由緒書差出し候
御所御勘定所御由緒書を以て御届申上候一通
御下ヶ之御用向御渡し被成下候
御入用金五百両之御渡し被成下候
御入用金三百両御渡し候上御勘定所御届申上候
御表より御達し有之候間御承知被成下候
候事

十九日
一 御勘定所御修復御用
当年御修復御用御願之通り被仰付候
右御修復御用之儀者当御所御修復御用向御勘定所
御届申上候に付御承知被成下候事

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

石非石ニも永々之七十年ニ至迄延候ニ付ノ古来より御修覆被
寺院御用向無之候ニ付御修理被仰付候ハヽ宜敷候旨申遣候様被仰付
候ニ付申上候

廿七日
一 御寺家之新御文庫御蔵出来ニ付御文庫迄参る
　候ニ付御寺之御用ニ付御修覆料之儀得御意候
　今日ニ付遣ス

十月六日
一 御寺ヘ家来御門主参上ニ付御暇乞申来ル

十六日
一 北野より御勘定帳一冊 并銀米高書出候 右京大夫
　参ル 右之趣西ノ七月ヘ高成六月之仕切勘定帳
二冊 出来ニ付差出候御請取候也

廿三日
一 御用ニ御手伝候御書一通御渡候ニ付勘定所より御届
　御勘定之儀去年より御修覆料之儀ニ付御勘定所御届候
　御修覆料之儀ニ付御勘定所より申来候
　（加賀守御渡候也）

廿七日
一 御寺ヘ家来之雲林院御成ニ付御寺家之儀ニ雲林院へ家来
　御前御同所より差出候御勘定御修理料御寺ヘ御渡被仰付候

九月七日
一 御寺ニ家来香宮御用向御修覆料御渡ニ付差上候

一 元銀三百匁 但利息十二月より七月迄 但閏二月共 右之人
　九ヶ月分十八匁也　　　　　　　　　　　　請人 梅本大炊
一 右銀子代利銀共御請取御渡候ニ付差出ス
　右之通今日御寺ヘ差出候ニ付御渡被仰付候
　御用相済候也

一　八月分御勘定帳一冊銀米入高書付相添北原より
　差出ス請取置候事
十三
一　右勘定帳今日御所御役所へ持参いたし候処御渡ニ付
　御奉行所へ差出ス尤しらへ有之由申来ル
十四
一　右勘定帳之儀御治定下ノ候ニ付、御勘定所へ差出候
　御勘定帳相済候ニ付申来ル
　草書
　右ニ付御奉行所へ差出し候処被仰付候事
　其外御勘定帳之義ハ相済候由申来ル

十五
一　御奉行所へ罷出候処今日より返ニ相成
　候ニ付御勘定帳相済可申旨申渡ス
一　九月分御勘定帳并酉ノ年仕切勘定帳共今日御所御役所へ
　御所方より御渡ニ付御奉行所へ持参致シ候処九月分
　出来之上ニ而差出可申旨被申渡候右勘定帳之義ハ仕切勘定
　帳ハ当年中御返被下候ニ付持参いたし候由申来ル
十六
一　御奉行様上京ニ付上京御祝之御祝儀ニ罷出候
　御請之上罷出候
　御前ニ而御意有之候御支配中之儀ニ付御頼申上候
　其外色々御沙汰有之候事

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

御事なきにつき伏して今般も上﨟さまへ元朝より御出仕候て
御祝儀申上候吉例の通り被仰出候に付右御吉例の御内意
お請の御事にて則十四日御向へ御礼申入候て御請
又候も御祝儀申上候下り候て御内意にて候其後も御礼申上候
右の申御上﨟様御祝儀被為遊候上にて下り候事にてもよし
御前へも申上候御伺申上御所へも御祝儀にて御礼申上候一
御下りの御悦申上候下り候様御沙汰遊し

十三日
一酉年仕切勘定帳一冊上﨟局へ戸田相渡候、今日主殿
出雲守へも申遣し候処、御請申上候例もこれあり、例年月に相渡し候
例にて、但し例の通り二冊之内壱冊は勘定所へ遣し、一冊は
是に留置候事

十二月二日
一仙洞院様御所方相田右御所御用紙御注文来り候事
新規ゆへしらへ候事

三日
一御所御用紙御注文一件、御用掛り御勘定方より御所方書
七百枚御書付申付、右書付にて御礼、右御沙汰之通
右御沙汰にて候、仕候て所へ差出し候御沙汰に依て御勘定所へも
請取候

九日
一十月分御勘定帳一冊并鋪物御入用高書別紙相添
今日主殿出雲守へ相渡し候事

十三日
一後院御所御内の御文庫前廻りに付ては出来候付手前にて候

下ル、此分午刻比御所ゟ代官出羽守退出候ニ付、百姓共も己成
御代官ゟ御下知出雲守へ申渡候由ニ而御届申上ル
一、依百姓之

広橋殿　出雲守
渡辺隠岐守

御文庫御見ニ付御前ゟ百姓共御附御出来御文庫ニ而
此度人修覆御世話ニ付[illegible]御出来御様見しく[illegible]
御上覧御様[illegible]御宮殿之二十[illegible]御[illegible]
御筆[illegible]御入置[illegible]又御前[illegible]二[illegible]
一、右之通[illegible]仕[illegible]上様御[illegible]上[illegible]
し
十四日
一、十月ゟ御勘定之一冊今日御所御用一覧し後返ス

語候也
十五日
一、御等一冊之写し而御礼ニ申上出雲守ゟ役人ニ申渡時ニ
語ゟ後返ス
一、十月ゟ御勘定帳一冊御常ニ被成被仰山甲斐語
右御勘定[illegible]而御[illegible]之由ニ而十九日[illegible]
[illegible]出雲守[illegible]語[illegible]
十六日
一、吉祥村庄屋[illegible]納米二付[illegible]し[illegible]
百姓[illegible]役所[illegible]役[illegible]
[illegible]出雲守[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

より

元銀弐貫弐百廿匁 利銀三百六十五匁 六月より十二月迄 但丹中 長三郎

三ケ月廿日分下三[illegible]九分 七ケ月分合百四十七匁 下三分ゟ

元銀七百四十五匁 利銀三百六十 六月より十二月迄 右口人

三ケ月八分三厘九分[illegible] 七ケ月合合四拾九匁 下七分一

利銀之儀も年賦ニ而元銀ニ而御[illegible]ニ[illegible]年賦ニ[illegible]

渡済之上十二月[illegible]利銀新[illegible]文[illegible]元[illegible]

之所[illegible]書[illegible]

元銀五百四匁 利銀廿文目 但戌八月より十二月迄五ケ月分

[illegible]書[illegible]

康同[illegible] 紀伊

覚

一 同 [illegible]

一 同 [illegible]

一 同 [illegible]

一 元銀六百五十匁 元入拾五匁 此文五月より十二月迄 利銀 十九匁五分 但七ケ月[illegible]

[illegible]

右[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 五[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]年分 金子拾両 [illegible]

元銀弐貫弐百五拾目　利銀三百三拾匁　六月ゟ十二月迄　伊丹屋長兵衛
三十月廿日下年而九ヶ月分合百四十五匁下之
元銀七百四拾五匁　利銀三百三拾匁　六月ゟ十二月迄　右同人
三十月八分三下九ヶ月分合四拾九匁下也
此利銀上納之年賦ニ而元銀ハ御所御用ニ相立候ニ付差上候
此度差上候十二月迄利銀新規之御事ニ付
之所相成候書付差上候
元銀五百目　利銀廿文目　但此八月ゟ十二月迄五ヶ月分
書付相成ニ書差上候

覚

一　五百目　吉浅屋七兵衛

一　弐貫目　高瀬与右衛門

一　三貫目　是ハ御所御用之内ニ納候　吉野屋九兵衛

一　弐貫四百目六拾五文　伊丹屋長兵衛

一　三貫七百目三拾文　嵐屋喜市

一　弐百目　是ハ當六月ゟ十二月迄ニ年々利銀引　橋本

一　七百四拾五匁　伊丹屋長兵衛

一　六百八拾目　伏見屋

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

候ハゞ御茶方江常伴ハ相済候ニ付古銀文字銀ニ而差上候由
申来り候ニ付
十六日
一十二月分御勘定帳二冊并銀米御入用帳一冊書付共
書付添御所方へ相渡候処
一段々相滞候ニ付今日御勘定所へ御伺之上右書付相渡ス
右之通差上ル
廿日
一元銀五百貫七百三拾匁
利銀七拾匁ハ十二月ゟ五ヶ月分
戌七月廿八日ゟ十二月中
荒木忠右衛門
一元銀百目
利銀六匁 但六月ゟ十二月迄七ヶ月分上ル
原平治
右利銀二口並ニ今日錦小路家ヘ相渡ス 新古銀文字銀文字銀也

ゟ申来り候ニ付右証書相渡之銀御下ケ附之
一宝暦元年御入用ニ付相伺候ニ付右御入用之内申渡候
右ハ度々御伺之通被仰付候ニ付右申渡ス由ニ候
右之通年頭御礼日ニ付是迄正月十五日以後
又此節ゟ十八日ゟ之御手当
右之通ニ付今日御茶屋之代右御届申上候 差出ス
右御勘定所ニ而申渡候事
廿六日
一御茶屋之儀相届候ニ付御用ニ付相伺候
御勘定所ゟ一通差出候処

右同し居候事

廿八日
一 金百疋
右ハ例年之通今年御用懸り五月迄上下之分相済ニ付御
礼として被下置候事
　　　御賄掃除へ

正月大

二日
一 年始為御礼参上ニ付例年之通御酒被下置
并ら御吸物被下之

五日
一 御寺へ参上御対面御酒被下置御所へ参　何部

十三日
一 去十二月御修復御入用勘定帳一冊
一 去十二月分御役所御入用勘定帳一冊
　并ニ御内中御錺用共
一 去十二月分御所御掃除帳　并ニ臨時用共一冊
右之通御勘定所へ差出候ニ付差出し
一 御寺へ参上先年之振合ニ付御譲ニ渡遣ス

二月二日
一 去ル御勘定帳二冊并御附衆へ差出ス　一統出席有之ニ付入
　ハ追而御礼のため参上可致事

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

廿六日
一 元銀弐百目　此ハ十一月分六百三十目之内 利足拾弐匁上ル　梅京四十郎

廿七日
一 御寺々并ル御所方京諸合ニ付ト候て以文 [illegible]
[illegible]利[illegible]十日相済不申候 [illegible]上古流文
[illegible]一通ニ写シ一通ヘ遣シ候 [illegible]
[illegible] [illegible]御上様ヘ [illegible]
[illegible]

十日
一 [illegible]御郷[illegible] 加冬[illegible]候 [illegible]
[illegible]
[illegible]

十二日
一 正月分勘定帳一冊 并銀[illegible]ヘ[illegible]書 別紙お[illegible]
[illegible]

一 [illegible]銀[illegible]文[illegible]　梅京四十郎
[illegible]

十六日
一 [illegible] 中村
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十八日
一 正月勘定帳一冊 [illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

一 十五日
淺井監物[illegible]御所[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 十六日
松田要蔵殿[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 十七日
松田要蔵殿[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 十八日
[illegible]

一 廿日
淺井[illegible]
又[illegible]

一 廿二日
[illegible]

三月小 二日
一 [illegible]上[illegible]

御寺ゟ書上之御用も無之候ニ付可申上候
三月十九日
一 二月ゟ御勘定帳一冊并銀米入用高書別紙相添差上候
右之通相済申候
十三日
一 大御所御勘定帳諸入用御渡御所御渡之儀ニ付一銭
御用之儀御家来衆へ申渡ス[illegible]
五日
一 御寺ニ而直上清水[illegible]御蔵ニ付御封書差出候ニ付請取候
十六日
一 御寺ニ而書上吉田ニ而御届ケ御札[illegible]ニ付口上書遣
上﨟[illegible]
廿四日

一 御寺ニ而書上[illegible]御月次[illegible]廿一日高田[illegible]
御札ニ付[illegible]吉田[illegible]ニ而口上書
[illegible]上[illegible]高田[illegible]村[illegible]神[illegible]天神社
[illegible]ニ付[illegible]宮様[illegible]御[illegible]
[illegible]吉田[illegible]口上書[illegible]宮様御[illegible]
[illegible]ニ付[illegible]右御[illegible]
吉田[illegible]村[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

仕立物、今日出来候ニ付差上ル、十一日ニ付[illegible]
来ル二吉田へ、着し給扇閣御膳方へ願上入候様
三位殿御出会来ニ付、先宮様御箸御書付大納言様御方
迄、御箸一箱（養老鉄入）二重箱御届ケ、并ニ見参代ニ[illegible]
御箸御膳送[illegible]ニ付手紙を以申之候、御使[illegible]
御用ニ付中口ニ書翰相渡、宮様御添状差上候之
右吉田へ人ら申候処、口上書別ニ有之候、右御箸之儀ハ先達ニ付
[illegible]へ来ルニ付御持ニ成リ、御内意ニ付御頼ニ而御届ケ候
宮様ニ御名も出候ニ付御届ケ之事ニ付相達し候、宮中
御返上ニ付候之

廿二日
一 今日右御箸箱御寺ニ而御茶代拾疋[illegible]

入御縁ニ付 宮御箸ニ相送リ、右ニ付御頼[illegible]
与信ニ付候ニ依之、右御箸箱[illegible]西京御寺ニ[illegible]
御右ニ随ひ申候ニ付[illegible]候之

廿八日
一 今夕冷泉中納言殿、清水谷中将殿御寺ニ而[illegible]
[illegible]御出ニ付[illegible]ニ付御手紙[illegible]
[illegible]申刻[illegible]御安鄕
御箸[illegible]御出ニ付[illegible]御頼[illegible]
[illegible]御人[illegible]拾人[illegible]
御返ニ書状メ一通[illegible]

四月朔日
一 今夕も右ニ付[illegible]御安鄕御出ニ付[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

当年代官衆京都方ハ鈴ノ御用ニ付而ハ作事方ヘ申遣ス由候
次ノ通ハ今日ゟ京都ニ於ゐて御入用ニ付右京都方御内
相談有之候 書付を以御治定被仰付ニ付御返也
十五日
一 冷泉殿御所ニ付候ハ鷹司殿御本丸ニ相渡し候而之一件
宮様御所方へも引渡済ニ付御目付 堀田土佐守殿へ
し御渡し相済候土佐守殿へ申渡又ハ今晩御承知之御人
相定有之会ニ付以後御手当之趣承り候而も御作事方へ
今晩之合力方之御普請御入用申上候様可致候
十七日
一 宝鏡寺様御用掛り京都御作事御入用御下知向御右橋
人取扱御治定之向御修復之事以て致し御渡し可申候

堀田土佐守殿へ二日被成候事 冷泉殿御所ニ付候も右之段
御作事方御殿御引渡之儀も此節御普請御修復之事
之通ニ付而此節ハ仕様之内別而取計候今般見合
御入用ニ付御書付を以土佐守殿へ申渡書付
三ケ条申含御請御作事方之通ニ付申上候様申渡
御渡之書付以御見合候土佐守殿へ差出し候
宝鏡寺様御用相済候此段御相達し候
十八日
一 右御用之儀冷泉殿御所御修復御普請中ハ相見合候様
御所へ相達以表向御申付候ニ付書付
十九日
一 三月分御勘定帳一冊并銀米入用書書付遣し御役所

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

此方者御届候ニ而施行也

十四日

一 稲田出羽守より明後十六日内招宴ニ付、此方参ル様
今日御所方へ申遣ス様相伺候処、右之通申来ル

十五日

一 今日相役両人参上御伝奏衆ニ而尤
官位之儀御取次御沙汰之事所労ニ付差支候御所
御所向之儀ニ付申上候処御手前御支配ニ而、御用之儀も大切
御沙汰之事ニ付差支御所向之儀ニ付御用之節も御
処ニ而御取計之事ニ而御沙汰之趣申上候ニ付、此方御
請之儀ニ付、御沙汰之趣申達候処、御承知之旨ニ付、被仰付
御沙汰之趣も申達候旨之返答

稲田出羽守申

一 右之趣ニ而相済候ニ付 冷泉民部卿殿より御書付ニ而 新宮
中村兵部へ申達候処 御沙汰之御儀ニ付 前刑部大輔より申達
相済候旨也
宗像之事、冷泉殿之代右之趣ニ付申上候処、御聞届ニ付申達候人之旨
一 御手伝ニ参上上薦へ差出御用御沙汰之御儀ニ付、御沙汰御見舞
刑部大輔より中務へ申上、御承知之旨不相成候ニ付
之趣大納言ニ申上候旨上薦より御沙汰之旨申来ル

十九日

一 此間之御沙汰之通り御用之儀ニ付、御沙汰ニ付、御届申上候
今日より之御沙汰之趣京大納言殿之旨返書来ル

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

一 廿四日

陰陽頭之
門跡之

太元道之御将監方へ、もゝゟ伝達有之延候し不同候由也之しにて
非其者人分之明日御帳ニ付、候得ハ伝御尋之旨上藤へ可
伝知有之此之候、尤当月承之候段之旨申上、伝之欣之之、年陰陽頭ゟ
皆川雁之年、如書之上、浣治如事ニ而、道之立廉之八月迄ニ
延也之御用有之候、昨日御年、宗之一巡ニ有之、是又左京候申来ル

廿日

一 北寺ニ宗之極前候旨、無御同御昨日五日西尾御帳ニ付候
無之ゟ伝候由、御尋有之御門跡之伝之候成基有可有之しらら三之ん

披拐ゟり、当親中村吉兵衛へ、ゟ伝達陰陽頭之御帳ニ付、候
ハゝ伝達候ゟ、伝其様以分御紀合候、如之当伝母相成、ハ伝達しに
伝候親伝母御請申上候、旦前候御尋大京之ゟ出雲守立
合申候ハゝ、此出雲守申上候ニ付、御尋有之、如何伝ル之以ハゝ申上
候之系へ分以之今以道と返事候し当今皆川雁奏候し、伝
之ゟ当出候、申上候、年来上ゟ伝候しに上藤申上候

一 奥向光ゟ八尾中之候しに年元道之依　二言 聴持寺へ之
ゟ言之者候前候申上侯尾人相年齢ゟ宣之ゟ年御のしひ
し之分皆海前侯之ゟ伝ゟて御語ゟ申し之而尤、是ハ伝御寺へ
ゟ言也候尾中座次ノ子細も有之しゟ年内人入之八ゟ伝年
し之の新ゟ也之陰陽頭へ、八陰陽頭之門帳ゟりゝ伝之陰陽頭之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

来り相成候ハヽ承知候ハヽ百姓と言与力九人扱ニ致し候上候
吉座ニ而右　禎首座ゟ百姓与吉ニ御治定之明後日ゟ百姓九
候之御人ハ勝手ニ吉以今ノ事而相成候ハヽ以之通ニ云吉田之持九人以及死ハ
右ハ御世話ゟ申上候へ共以之言御人も相成ひ候上ハ上臈ニも相ニ
心得之ニ御出候も有之候之様ニ言候て源上臈ハ信濃守ゟ
遣之様子ハ何トかこん逢ふ御人ゟ百姓ニ而上臈御承知之通信濃守
錦部左京ゟ出雲守ゟ御相之御承知之事由ハ御示も出言し
越信濃守左京出雲守へ申由之様子ニ申候事由へ御沙汰申上候
目利上臈　信之様申由　右ニ加勢御呈未一石ゟ申之ニ付
引申入ル上臈御請之上信之様言ふ申訳申上候以上ハ之ニ可
此段承知し勘定候ゆゑ相談之仰之言ニ而御座候右様承知ん
候処ニ而此ゟ何而通御沙汰申上候様ニ存候文

宮様ハ御安心ニ下之
一上臈ゟ仰渡之上禎首座ハ未来御呈ニ付テ之通ニ相成候未
会之石ニ付被下候ゟ右之信濃守ゟ左京出雲守ゟ御合申候上
之故ゟ百姓之仕候首座ハ未之合ニ而ハ仰付候様申
右之通御請申上候之
十八日
一今日禎首座ゟ百姓御用之儀ニ付禎首座左京へ申遣
十九日
一四月ゟ御勘定帳一冊之銀子入用之書付左京
差上候ニ付御請申上ニ而之
廿日
一御寺ニ而当時禎首座ゟ先年之百姓御用ニ付御代
当御用禎首座ハ御合候処左京へ申付候

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

十三日
一 四月分御勘定帳一冊出ニ附添代官ゟ 御所方御一
読合濟候ニ付今日御寺ゟ御出雲方へ納候事

十五日
一 御寺ゟ宮之御祈禱料之手形遣也

十六日
一 御寺ゟ宮之御祈禱御用ニ付而も申しおく候様ニ手形遣出

六月十六日
一 銀弐貫三百六拾目
利足 戌ノ十二月ゟ亥ノ五月迄 六ヶ月分
合銀百四拾七匁二分
此分

一 同七百四拾五匁
利足 戌ノ十二月ゟ亥ノ五月迄
四十九匁
右行丹後長之様ゟ上納ニ付請取候事

五日
一 御寺ゟ宮之行丹後入ゟ上納之利銀請取
同様ニ出雲方ゟ請合定帳
両宮へ差遣候事
右之証文ニ而御寺宮之請取之候事

十八日
一 五月分御勘定帳一冊 并銀帳之内ゟ書付御所方へ遣候

十九日
一 御寺ゟ宮之上京ニ付 御所御用御用
大雲寺宮御所ゟ出雲方へ御使ニ而遣候

十六日
一 五月分御勘定帳一冊御所方へ遣候

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

元七百四拾五匁戌ノ十二月ゟ亥ノ
十月迄三ケ月ノ利三百三拾五分

一 三拾五匁
元三百目亥ノ正月ゟ七月迄
七ケ月ノ利三拾五匁
須藤七伝附

一 百三匁四分
元三貫七百目・三拾三匁亥ノ正月ゟ
七月迄七ケ月ノ利八分
蔵金
与市

一 三拾五匁
元三貫目亥ノ正月ゟ六月迄
六ケ月ノ利三拾五匁
京屋
四郎兵衛

一 拾五匁
元五百目・亥十二月ゟ子七月迄
七ケ月ノ利
梅原新五郎

一 八拾六匁六分
元六百目戌ノ十二月ゟ亥ノ
六月迄七ケ月ノ利六百目附
次之信衛

外ニ
元入拾五匁

お園
貞八

坂本良伝
梅原吉八
濱
次平治

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

十三日
一 銀弐百目
　右依頼して宿る借ら借用し出雲守ニ渡し又返ス人々へ貸、　右出雲守
　上ケ置候ニ

十八日
一 去月分御所勘定帳壱冊　并ニ申之御所様御所御蔵帳壱冊
　非蔵人御見分書付候、御所様ニ相渡[illegible]

十五日
一 御寺より参番人ニ付御用[illegible]所え被申渡し候
　所ニ而太中[illegible]大橋吹[illegible]参候[illegible]
　右吉田家[illegible][illegible]宮[illegible]被遣[illegible][illegible]吉田
　太[illegible]吉田家[illegible]世話[illegible]
　[illegible][illegible][illegible]
　[illegible]吉田家[illegible]鈴鹿周防守[illegible]入[illegible]上[illegible]

十四日
一 大宮通樋口居宅
　　　　　　　　　　　　　　　　　　新屋元右衛門
　　　　　　　　　　　　　　　　　　悴　藤助
　右ハ[illegible]之[illegible]御所御出入[illegible]
　宗[illegible]御出入[illegible]
　[illegible]御出入[illegible]
　[illegible][illegible]
　[illegible]

廿六日
一 [illegible]御所[illegible]
　御[illegible]
　[illegible]

七日
一 御寺ゟ先達而被差出候修覆願之儀ニ付、去ル六月ゟ
御勘定帳一冊并中之御取次御役所銀帳一冊、右者先達而被差出置候
所、今日被返候、右者被返候

十二日
一 去卯年御寺領御収納取立帳 一冊
一 同 銀米勘定帳 二冊
右之通中嶋靭負ゟ差出候ニ付、右之者西田主水正勘会
御寺ゟ御差出候ニ付、左京出雲守差出候様申渡し、今日御役所銀子之儀
御銀米請払勘定帳二冊ニ月一冊、奥書帳面返却
受取之旨相認、先日差出置候御勘定所ゟ右様子左京出雲守
差出相渡、十三日ニ返却御勘定所ニ而相済

一 正月ゟ御勘定帳一冊入ニ付、左京出雲守ゟ外之銀
御所被差出、御勘定所ニ而相改、十三日ニ返却相済候
勘定所ニ而相済
右帳面ニ奥書認候而、右左京出雲守ゟ奥書相認
帳一冊ハ返ル、中嶋ゟ相渡ス
十六日
一 御寺ゟ上藤出雲守ニ而御用之儀ニ付出雲守ゟ被仰
而候様被仰候
十七日
一 御寺家之上藤、急御用ニ付御所ゟ左京諸
九日
一 御寺家之御対面御所御前ニ而御勘定所ニ而

左京大夫殿へ仰有ル後、其儘御入内
御川供ニ而参内、申刻過ニ退出、
被仰渡之趣ニ付、御請書ニ
奉行ニ而差出ス、
一、十月今出川御定使一冊、英
仁ヨリ左京大夫殿へ渡ス、
一、十日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十一日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十二日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十三日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十四日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十五日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十六日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十七日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十八日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十九日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿一日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿二日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿三日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿四日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿五日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿六日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿七日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿八日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿九日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、晦日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、

十月分

一、御手洗詰座祢大祓ニ付、参内
之儀ニ付、勝手書ヲ以御届
申上ル、
一、九日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十一日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十二日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十三日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十四日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十五日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十六日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十七日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十八日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、十九日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿一日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿二日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿三日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿四日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿五日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿六日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿七日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿八日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、廿九日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、
一、晦日、今日御定使一冊、英仁ヨリ
左京大夫殿へ渡ス、

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一 十四年々寄六月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
十五日 一御手、寄之内御撰御
初穂御請ニ参ル
十六日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
十七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
八ツ 一御用後ニ参ル
一御用ニ而御所へ参ル
十八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十九日 一云々八月五日分御内借銀
御所、御勘定奉行へ借受ニ参
ル途中ニ而御手代ニ逢御咄
ニ而御帰ニ付御勘定奉行へ
御届ニ参ル
廿日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿一日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿三日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿六日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
晦日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
一御用ニ而御所へ参ル

八月朔日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
三日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
六日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十一日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十三日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十五日 一云々八月五日分御内借銀
御所、御勘定奉行へ借受ニ参
ル途中ニ而御手代ニ逢御咄
ニ而御帰ニ付御勘定奉行へ
御届ニ参ル
十六日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿一日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿三日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿六日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
晦日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
一御用ニ而御所へ参ル

九月朔日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
三日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
六日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十一日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十三日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十六日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿一日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿三日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿六日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
晦日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
一御用ニ而御所へ参ル

十月朔日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
三日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
六日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十一日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十三日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十六日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿一日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿三日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿六日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
晦日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
一御用ニ而御所へ参ル

十一月朔日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
三日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
六日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十一日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十三日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十六日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿一日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿三日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿六日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
晦日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
一御用ニ而御所へ参ル

十二月朔日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
三日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
六日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十一日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十三日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十六日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
十九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿一日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿二日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿三日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿四日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿五日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿六日 一十四年々高七月分御月掛御
金之内弐朱ト銭弐百文ハ
御手ニ入ル
廿七日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿八日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
廿九日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
晦日 一御手、寄之内御菓子ニ参ル
一御用後ニ参ル
一御用ニ而御所へ参ル

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一 此利銀百四十七匁壱分四厘　　仁井や長兵衛

一 口 元銀七百四拾五匁　　但シ壱ケ月八分壱厘九毛五々

此利銀四拾九匁三分七り　　右口人

右利銀之分新規文二通相渡長兵衛方より請取之

一 勝手 元銀之儀去ル十月中町会所地一冊入り右京出候も

無人へ右銀相渡の御世話之文言右京ゟ入之候様被仰付

重而掛御役所川端谷町御用書一通差出町奉行所江

右銀子返済之儀無相違可致候申上候

一 十二月十三日 元銀弐貫目　　此利銀弐百四拾匁　　但此十二月ゟ来亥十二月迄

右町役人立会借銀利足之儀ニ付村田氏証文

案ニ付役人へ元銀此方へ預り候借用証文取置候処

連印之者共長田孫中へ相渡候得ハ仲間ゟ御

寺之証文今以返済不致間此度新規証文相改

古証文可被相渡候

一 五口 古証文　弐通

右町寺々仕置ゟ出之証文ニ付今日相渡ス　　仁井や長兵衛

一 六口 御所々寄之拝領所之此所月本家借銀利足并

新規証文以文仁井や長兵衛方相納候利銀新規証文

之分利銀之儀御取計候得共ニ相納候事

一 九口 元銀六百弐拾匁　内元入拾五匁　利銀六分七厘

右ハ大和屋へ御出之上済口証文一通受取申候様
被仰渡候事

十八日
一 十二月ゟ御勘定帳一冊并銀米御入用高書付御渡ニ付
右者当御所ゟ御役所御勘定所へ差出申候ニ付　但当十二月廿六日
御所々御賄方ゟ出雲守へ御届ケ

廿二日
一 御所々之内当御所御煤払之上ニ而、御所御月番御勘定所
御役所へ御届ケ之上御延引之事ニ御座候、
然ル処御所ゟ御付御役人衆ゟ被仰渡候
御賄方御見分之上御所ニ而御勘定所へ御差出之由御申
御届ケ之上被仰出候事ニ而、御所御月番之由
御賄方ゟ御勘定所へ差出候

右之通御勘定所へ差出候処、御切米之儀ニ付御
賄方御役所ゟ被仰下候事
一 御役所ゟ銀之儀御利足書付を以御差出
但之古証文引替三百目之御渡ニ付御渡之事
十七日
一 銀四百目　月四百目ノ利附之　来ル十二月迄之
右者借用之内ニ而上納、但御役所ゟ御手伝所　有借　二宮大隅守
之者証文一通御出シニ付借用申候　大山出雲守
廿二日
一 右ニ付御所御切米七石之内御勘定所ゟ御差図之上御勘定

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

二年今ゟ上藤右衛門ニ御加増弐石ツヽ被下置候
被為仰渡候旨御目付へ申上候処右之御事被下之
右之仰渡ニ付右御手当をも御所方ゟ被仰付候て
宜取計候段ニ申付候上藤ニ渡候も御勘定へ申
立候ニ付取計候事ニ候へ共右席之者へ申入候ニ付
外之者へも申聞候旨申聞候

廿六

一 元銀百匁　此利息六月ゟ四月迄
六ケ月分六匁五分　渡辺平作

一 元銀弐百目　此利息八月ゟ子ノ正月迄
六ケ月分拾弐匁五分　梅原利八

右新銀之分元銀御渡し三月廿三日相済候月廿八日御勘定
新銀之分元銀之内[illegible]御渡し[illegible]古銀之分[illegible]
御所御渡ニ而相済[illegible]

一 利銀七拾六匁弐分弐厘　亥七月ゟ子十二月迄　萬[illegible]
右之銀子取替候分三月廿八日御手当ゟ被下置候ニ付渡[illegible]
[illegible]御渡し[illegible]

長井右膳

廿八

一 銀三百目
右者[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

廿九

一 右同断御払方御銀子請取代部屋ニ而右分在京
出雲守殿へ人足ニ而差出候
長井右衛門

宝暦六丙子年正月

十六日
一 御本御知行所惣村割御田緒書付参候ニ付
出し候様御懸御渡ニ付差遣候
案紙一通 御渡被下候事

一 寺社御知行所村割書し候元文二年
書付

一 諸御役所差支候様二付御不審之趣
御所向へ申上候

十四日
一 御本寺之出雲守殿御指図御用之事

廿日
一 書状月御掛帳一冊 書御勘定御払銀帳一冊 御用帳一冊
右京出雲守御役所へ差出候

廿五日
一御寺ゟ宗之掟別御改書差上候ニ付、今日差出候旨申候
廿六日
一此間ゟ差出置候去年十二月御勘定帳三冊御預被下、今日
お御所へ差出候処、御預り被成御座候
二月廿四日
一御寺ゟ宗之御答被成候ニ付、御役人衆御目付代衆宅へ
こゝ追々御呼出之上、先規之通被仰付候旨
被仰渡候
十六日
一子正月分御勘定帳壱冊并銀米御入用書付御役人衆
出来申候
十五日
一御寺ゟ宗之出来候ニ付、法会御用書出之様ニ書付差出申候

五月廿日
一右之節ゟ御渡し之三拾両銀弐百三十匁
此之方西九拾匁之銀子受取候、右御用之節ゟ
御入用書付差上候
廿二日
一右之者へ正月御勘定帳御渡し被成、御所御渡之節今日
御寺之御用書御役人衆へ差出申候
丹波国桑田郡
山本藤右衛門
一
右之者此度代御寺御出入仕度段願出候ニ付、御
奉行衆へ今日申上候、右之者御出入之儀、御用之節御
こゝ御用之上今日御霊前諸書物差出候様ニ、
右様之子細も無之候ニ付、御出入被仰付候
御出入之儀、右之者へ被仰付候

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』請求記号 826-91
ガラス使用

廿三日
一 御所々差上候出雲守殿へ（御附）渡候分両冊
よしのや 宗兵衛
一 右御月銀并貸附方ゟ借状代り所ゟ割賦并当卯
暮迄ゟ当卯ゟ一五年賦上納御取締掛り御代官
之者ゟ借状へ銀七十〆二貳百四拾五貫〆二差上
候様ニ御伺済之上ゟ仰付ゟ候ニ付此上千石銀子
今日伺之通相済候間（御附）之御取計之分
諸向書付出雲守殿ゟ〔illegible〕
出雲守殿へ相渡候事
廿四日
一 薮田筑後守

右触之通当分御預候所（御附）出雲守殿へ差出し申候事
三月小朔日
一 御所々之御知行所村々御取ケ銀十年賦ニ以取立
二付取計之事御手附一通差出御取計ゟ支配五ヶ年
之御知行所并御代官申渡候ハ右之通御代官銀
ゟ御伺済ゟ村々十二ヶ村之割書之通伺済之上ハ
出雲守殿へ相渡し候事右御石代取立方之儀ハ
二ゟ相当御取ニ被成下候ニ付此上ゟ右御用済次第
書付差出候ニ付差出し
三月二日
一 山本筑前守殿へ御用留（?）百四十五ヶ之写帳之儀
右之趣致承知候事

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一 金子三百疋 并 昆布五拾本
右ハ御節会ニ付 御例之通被下候事

十一日
一 二月分御勘定帳一冊 并 鍵帯入用之書付 御勘定所へ来ル
右ハ長田殿中より[illegible]

十五日
一 御寺〻宗旨之節 [illegible] 御勘定所ニ而 [illegible]
[illegible]

十六日
一 御勘定帳一冊 [illegible] 殿中より [illegible]
御寺〻 [illegible]

廿日
一 御寺〻宗旨之御前ニ而 [illegible]

四月三日
一 御寺〻宗旨 [illegible]
武衣 [illegible] 御寺 [illegible] 光照院宮様 [illegible]
[illegible] 宮様 [illegible]
[illegible]
[illegible]

十七日
一 明十八日 [illegible] 御七回忌 [illegible]
[illegible]
[illegible]

十九日
一 御寺〻 [illegible] 宗旨 [illegible] 御出 [illegible]
[illegible] 御前 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

右御化時以下二付　五常御菓子ホト以献上ル

一御所事ニ付一種上ル菓子尼衆ハおもて御化時ニ而
御前一夜上ル也

十二日
一三月十二日御菓子之ため一冊　并銀子書付相添来ル

十三日
一御寺ニ遣之尼衆諸家面頭御勝手御蔵西方ニ而御大
破ニ付修復之事御願申上候ニ付御冥加之由御取計ニ付
之旨書付を以相願候ニ付御届申上候

十四日
一三月十四日御菓子献上ニ付御所御中より参候ニ付御つ返し
相頼候ニ付御寺へのみ也

十六日
一御寺ニ遣之　御届申上御用

一
かのや九兵衛

一
右之通り銀三貫目五百匁借受仕置候処追々返済仕候ニ付
勝手ニ相成不申候ニ付去年中より書付を以弐百匁
五十匁ニ相合三百匁相渡ニ付書付を以右之尼衆
出雲守様へ申上候処今より六ヶ敷候ニ付書付を以御用ニ
申上候処利足之儀も去年より御返済之儀申上候処御催促
事に付右之通り申上候処御催促ニ付去年銀子
相渡候ニ付而も相不残入用ニ付御渡被成下候ニ付相済
申候ニ付此方ニ而御屋敷へ相渡候ニ付此方より御手前より
御取次御断申上候処御返済相済申候

一
右之通り依頼ニ付右出雲守様へ申上候ニ付右之段御届申上候
芥川数馬

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

此度病気も今以同事ニ候ニ付御暇願之儀新[illegible]左兵衛
ニ付竹久ニ而病気ニ付遠慮申上候処御暇被下
此段申上候事

一 五月廿六日
御寺ニ而御茶之御振舞御対面御口祝被下

一 十八日
四月分御勘定帳一冊 飯米御入用之書付別紙ニ有之
差上

一 廿三日
右御勘定帳一冊今日御本丸へ差上之書付[illegible]之事ニ候
[illegible]之事

一 廿七日
御本丸へ上候御装束ニ付 百石
当分御装束之御用多ニ付御手当[illegible]御本丸ニ

大聖寺宮御方ニ而も[illegible]御用[illegible]
大聖寺宮 宝鏡寺宮 右御依頼究
御装束御入用之儀ニ付[illegible]右御本寺ニ
諸事古例之通[illegible]遠慮之事

一 六月七日
御本丸之遠慮御作事[illegible]御用[illegible]
大御所[illegible]相勤[illegible]
松井伊賀守
浅井[illegible]
十二日

一 九日
五月分御勘定帳一冊 飯米之書付 松平出雲守へ
[illegible]
右勘定帳[illegible]御用[illegible]
[illegible]

ハニ而御寺ゟ御出ニ而[illegible]候旨書来ル　[illegible]

十二日
一 本日御所ゟ百宝鏡寺様御雇ニ入候ニ付
御所鏡番ニ而仕合御役料拾石ゟ御入用又ニ遣ニ
官様ゟ御下され文御出候ニ付[illegible]一つ[illegible]間長
四郎中ゟ御下され[illegible]御礼申上ル
右ハ[illegible]勤方ニ付御礼申上候御雇[illegible]
合[illegible]御加増被成[illegible]被下置候事
錦部[illegible]

十五日
一 御寺、家上御返事御口上ニ而宮様御機嫌ニ付[illegible]
当[illegible]御用之上[illegible]御機嫌伺ニ出候事

十六日
一 御寺、家之御前、御出ニ付[illegible]返事

一 御寺役料十年続之旨ニ付小堀数馬殿ゟ山田与惣ゟ
渡[illegible]
御所表御所御内玄関[illegible]
[illegible]
一 元銀弐貫弐百六拾目　此利百四拾七匁[illegible]九分
一 元銀七百四拾五匁　此利四拾七匁[illegible]
右[illegible]
[illegible]
[illegible]
行册や
長兵衛殿

次五日
一 本御所御内玄関ゟ御寺役料[illegible]元年[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
山田与惣

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

右ハ出雲守へ為見相渡候事
右ノ御帳二冊去月廿六日御所御賄所へ出シ御見分相済候ニ付、右帳面御賄所へ相渡し候事

十五日
一 御幸之節御入用諸入用金百両也 [illegible]
利足銀通諸入用ニ付 [illegible]
御所右之通 [illegible]

八月二日
一 御幸之御入用ハ [illegible] 上納

一 元銀四百目 去亥十二月七日迄
右利銀諸入元銀ニ添去十二月迄合 [illegible]
証文書之事

三宅右衛門

八日
一 七月分御勘定帳一冊并諸米入用之帳面相渡候事

十日
一 御幸之節出雲守へ相渡

三宅大学

一 右之通銀利足之新証文相渡、古証文ハ返ス
一 元銀弐百目 利銀拾弐匁 十二月七日迄
右利銀新証文相渡、古証文ハ返ス

梅原利八

十六日
一 銀弐百目
右借用之儀 [illegible] 十二月十五日迄

証人
古谷七郎
福嶋利兵衛

廿二日
一 御幸之出雲守へ渡ス御賄所へ納ル十五両

大破ニ付大工利兵衛江申付候後積り書出来致候処段々
吟味仕入用積り高下致候ニ付三十二匁ニ而申付候様ニ申来し

一 継孝院殿御納戸番衆申来候ハ大破ニ付見分之上修復積書積
り利兵衛へ申付候様ニと申越候ニ付利兵衛へ申付候尤
出来候ハヽ見分仕候様ニ申来候ニ付相済

廿五日

一 当月御用帳一冊御扶持方一冊 御所ニ而今日御勘定へ相
納候様ニ申来候ニ付今日差上候

九月十五日

一 当月迄四ケ月分御扶持方請取候ニ付御役所ニ而御扱代
為代々ニ付今日相納 御勝手方御前ニ而
右ニ而御扶持方表ニ而御預ケ御請取申上ニ付

一 相済候

大宮

一 当年御物成米帳請取御勘定帳一冊 御目録一冊 右ハ当年より御所
大中納言殿為御代り右御扶持方小田要助へ御渡し有之候
右ニ付右帳面差出し御扱代相渡候ニ付右書面御渡し有之
候ニ付今日右書付差上候而相済候様ニ申来し候ニ付
御帳面二冊之内一冊ハ御勘定所ニ而留置一冊ハ中納言殿へ差上

三十日

一 大典侍殿上﨟御局ニ而御病気ニ付御見舞之儀
申来候ニ付今日御内々御使ヲ以御見舞
之儀ニ付御局御承知之旨申来候
ニ付御扶持方之儀御勝手方ニ而相伺候処相済

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用　　挟み込み物

其内進之陽花院宮ニ柳原殿居帰し
右大並院宮様ハ陽花院宮其通院跡ハ一代ニ而元ゟ相勤
致り節広橋家之猶子ニ而右広橋家ニ入寺相済し
尚此方も近衛院宮ハ広橋家ゟ御相成候事

一 右広橋家ゟ此度入寺ニ付候、然今日於御所広橋
前大納言ヘも申入、御礼ニ而参候様被仰出
官御方、御同道ニ而御礼申上候、右ニ付御神事参
も当り可相成旨申上、右様ニ付其又御礼も申入、御如何
可致旨柳原殿居ニ而御礼被仰出候事

十月朔日
一 御寺ニ参上、柳原殿ニ而御返事、御膳被下置候、御銀被下

猪ゟの御ニ其又御乃広橋殿御礼申上候ニ付御返事ニ而
柳原殿御出座ニ而入御ニ付ニ而御返事申上ル右趣御申
下御ニ而此段被仰出候右其柳原殿居ニ而其旨申入候也

十九日
一 九月廿日御勤無拠一冊 献上書下書相済申候

十三日
一 御寺ニ参上けいこ院院殿ニ而ゟ右返事御使ニ而相済候

十五日
一 新寺へ参上九月ゟ御勤之根附一記相済候ニ付参
日相済参、御帰ニ

一 けいこ院、右寺御丹破損ニ付、参上ニ而院宮ニ院殿
右之院ニ而右御事相済候

一 陽花院宮ニ入寺ニ付ニ而ゟ相済ニ近々参上ニ而相済し

右宗門御帳被返し

一 廿四日
大門跡様より之御番頭諸士方ニ而大御積
様金乃出来被下御内ニ御頼被下候ニ付金百疋
遣候由入之　　松尾掃部

一 廿八日
宮様金剛寺御成ニ付物代被為済御下御役人参
并ニ還御御供御寺家ニ而御取持被成候

一 十一月五日
慈性院様ニ而今日より御門跡様大聖寺宮様内
ニ御礼ニ参し御寺家之上﨟ニ慈照御内ニ御上人方
又ニ御所様廣橋殿ニ御茶上人御披露

不出来院様迎ニ被申上御祝儀御寺家ニ御出ニ付候喝
今日衣服ニ付上﨟送内ニ依御礼被之

一 八
一 十月御地蔵帳一冊御寺入用書下候事
一 御院家様御入用御地蔵帳一冊　十許ヶ尼
大慈院之御方様十七同其御方ニ御済
徒寺院門前金襴物之　味噌御衣襴物之
金子銀合五百弐拾目

不相成候処御法会相済ニ付御出候又廿四日大善坊被相済候
右件ニ付相成也候ニ付首尾克御宮内ニ而御所様
入一統人来御一同ニ而五ヶ寺右宗旨御帳ニ付[illegible]

十六ウ
一宝暦五亥年四六子年六月ヨリ
銀米所勘定帳二冊
一宝暦十亥年ヨリ今ニ至ル勘定帳
一寛保元酉年ヨリ寛延元辰年迄
勘定帳
一天文廿四卯年ヨリ寛保元酉年迄
勘定帳
一延享元子年ヨリ文化十酉年迄
勘定帳
一文化十一戌年ヨリ同十三子年迄
勘定帳
一文化十四丑年ヨリ文政二卯年迄
勘定帳
一文政三辰年ヨリ同五午年迄
勘定帳
一文政六未年ヨリ同八酉年迄
勘定帳
一文政九戌年ヨリ同十一子年迄
勘定帳
一文政十二丑年ヨリ天保二卯年迄
勘定帳
一天保三辰年ヨリ同五午年迄
勘定帳
一天保六未年ヨリ同八酉年迄
勘定帳
一天保九戌年ヨリ同十一子年迄
勘定帳
一天保十二丑年ヨリ弘化二巳年迄
勘定帳
一弘化三午年ヨリ同四未年迄
勘定帳
一弘化四未年ヨリ嘉永元申年迄
勘定帳
一嘉永二酉年ヨリ同四亥年迄
勘定帳
一嘉永五子年ヨリ同七寅年迄
勘定帳
一嘉永八卯年ヨリ安政二卯年迄
勘定帳
一安政三辰年ヨリ同五午年迄
勘定帳
一安政六未年ヨリ万延元申年迄
勘定帳
一文久元酉年ヨリ同三亥年迄
勘定帳
一文久四子年ヨリ元治元子年迄
勘定帳
一慶応元丑年ヨリ同三卯年迄
勘定帳
一慶応四辰年ヨリ明治二巳年迄
勘定帳
一明治三午年ヨリ同五申年迄
勘定帳
一明治六酉年ヨリ同八亥年迄
勘定帳
一明治九子年ヨリ同十一寅年迄
勘定帳
一明治十二卯年ヨリ同十四巳年迄
勘定帳
一明治十五午年ヨリ同十七申年迄
勘定帳
一明治十八酉年ヨリ同廿亥年迄
勘定帳
一明治廿一子年ヨリ同廿三寅年迄
勘定帳
一明治廿四卯年ヨリ同廿六巳年迄
勘定帳
一明治廿七午年ヨリ同廿九申年迄
勘定帳
一明治三十酉年ヨリ同卅亥年迄
勘定帳
一明治卅一子年ヨリ同卅三寅年迄
勘定帳
一明治卅四卯年ヨリ同卅六巳年迄
勘定帳
一明治卅七午年ヨリ同卅九申年迄
勘定帳
一明治四十酉年ヨリ同四十二亥年迄
勘定帳
一明治四十三子年ヨリ同四十五寅年迄
勘定帳
一大正元卯年ヨリ同三巳年迄
勘定帳
一大正四午年ヨリ同六申年迄
勘定帳
一大正七酉年ヨリ同九亥年迄
勘定帳
一大正十子年ヨリ同十二寅年迄
勘定帳
一大正十三卯年ヨリ昭和二卯年迄
勘定帳
一昭和三辰年ヨリ同五午年迄
勘定帳
一昭和六未年ヨリ同八酉年迄
勘定帳
一昭和九戌年ヨリ同十一子年迄
勘定帳
一昭和十二丑年ヨリ同十四卯年迄
勘定帳
一昭和十五辰年ヨリ同十七午年迄
勘定帳
一昭和十八未年ヨリ同廿酉年迄
勘定帳
一昭和廿一戌年ヨリ同廿三子年迄
勘定帳
一昭和廿四丑年ヨリ同廿六卯年迄
勘定帳
一昭和廿七辰年ヨリ同廿九午年迄
勘定帳
一昭和三十未年ヨリ同卅二酉年迄
勘定帳
一昭和卅三戌年ヨリ同卅五子年迄
勘定帳
一昭和卅六丑年ヨリ同卅八卯年迄
勘定帳
一昭和卅九辰年ヨリ同四十午年迄
勘定帳
一昭和四十一未年ヨリ同四十三酉年迄
勘定帳
一昭和四十四戌年ヨリ同四十六子年迄
勘定帳
一昭和四十七丑年ヨリ同四十九卯年迄
勘定帳
一昭和五十辰年ヨリ同五十二午年迄
勘定帳
一昭和五十三未年ヨリ同五十五酉年迄
勘定帳
一昭和五十六戌年ヨリ同五十八子年迄
勘定帳
一昭和五十九丑年ヨリ同六十亥年迄
勘定帳
一昭和六十一寅年ヨリ平成二寅年迄
勘定帳
一平成三卯年ヨリ同五巳年迄
勘定帳
一平成六午年ヨリ同八申年迄
勘定帳
一平成九酉年ヨリ同十一亥年迄
勘定帳
一平成十二子年ヨリ同十四寅年迄
勘定帳
一平成十五卯年ヨリ同十七巳年迄
勘定帳
一平成十八午年ヨリ同廿申年迄
勘定帳
一平成廿一酉年ヨリ同廿三亥年迄
勘定帳
一平成廿四子年ヨリ同廿六寅年迄
勘定帳
一平成廿七卯年ヨリ同廿九巳年迄
勘定帳
一平成三十午年ヨリ同卅申年迄
勘定帳
一平成卅一酉年ヨリ同卅三亥年迄
勘定帳
一平成卅四子年ヨリ同卅六寅年迄
勘定帳
一平成卅七卯年ヨリ同卅九巳年迄
勘定帳
一平成四十午年ヨリ同四十二申年迄
勘定帳
一平成四十三酉年ヨリ同四十五亥年迄
勘定帳
一平成四十六子年ヨリ同四十八寅年迄
勘定帳
一平成四十九卯年ヨリ同五十巳年迄
勘定帳
一平成五十一午年ヨリ同五十三申年迄
勘定帳
一平成五十四酉年ヨリ同五十六亥年迄
勘定帳
一平成五十七子年ヨリ同五十九寅年迄
勘定帳
一平成六十卯年ヨリ令和二辰年迄
勘定帳
一令和三巳年ヨリ今ニ至ル勘定帳
一寛保元酉年ヨリ寛延元辰年迄
勘定帳
一天文廿四卯年ヨリ寛保元酉年迄
勘定帳
一延享元子年ヨリ文化十酉年迄
勘定帳
一文化十一戌年ヨリ同十三子年迄
勘定帳
一文化十四丑年ヨリ文政二卯年迄
勘定帳
一文政三辰年ヨリ同五午年迄
勘定帳
一文政六未年ヨリ同八酉年迄
勘定帳
一文政九戌年ヨリ同十一子年迄
勘定帳
一文政十二丑年ヨリ天保二卯年迄
勘定帳
一天保三辰年ヨリ同五午年迄
勘定帳
一天保六未年ヨリ同八酉年迄
勘定帳
一天保九戌年ヨリ同十一子年迄
勘定帳
一天保十二丑年ヨリ弘化二巳年迄
勘定帳
一弘化三午年ヨリ同四未年迄
勘定帳
一弘化四未年ヨリ嘉永元申年迄
勘定帳
一嘉永二酉年ヨリ同四亥年迄
勘定帳
一嘉永五子年ヨリ同七寅年迄
勘定帳
一嘉永八卯年ヨリ安政二卯年迄
勘定帳
一安政三辰年ヨリ同五午年迄
勘定帳
一安政六未年ヨリ万延元申年迄
勘定帳
一文久元酉年ヨリ同三亥年迄
勘定帳
一文久四子年ヨリ元治元子年迄
勘定帳
一慶応元丑年ヨリ同三卯年迄
勘定帳
一慶応四辰年ヨリ明治二巳年迄
勘定帳
一明治三午年ヨリ同五申年迄
勘定帳
一明治六酉年ヨリ同八亥年迄
勘定帳
一明治九子年ヨリ同十一寅年迄
勘定帳
一明治十二卯年ヨリ同十四巳年迄
勘定帳
一明治十五午年ヨリ同十七申年迄
勘定帳
一明治十八酉年ヨリ同廿亥年迄
勘定帳
一明治廿一子年ヨリ同廿三寅年迄
勘定帳
一明治廿四卯年ヨリ同廿六巳年迄
勘定帳
一明治廿七午年ヨリ同廿九申年迄
勘定帳
一明治三十酉年ヨリ同卅亥年迄
勘定帳
一明治卅一子年ヨリ同卅三寅年迄
勘定帳
一明治卅四卯年ヨリ同卅六巳年迄
勘定帳
一明治卅七午年ヨリ同卅九申年迄
勘定帳
一明治四十酉年ヨリ同四十二亥年迄
勘定帳
一明治四十三子年ヨリ同四十五寅年迄
勘定帳
一大正元卯年ヨリ同三巳年迄
勘定帳
一大正四午年ヨリ同六申年迄
勘定帳
一大正七酉年ヨリ同九亥年迄
勘定帳
一大正十子年ヨリ同十二寅年迄
勘定帳
一大正十三卯年ヨリ昭和二卯年迄
勘定帳
一昭和三辰年ヨリ同五午年迄
勘定帳
一昭和六未年ヨリ同八酉年迄
勘定帳
一昭和九戌年ヨリ同十一子年迄
勘定帳
一昭和十二丑年ヨリ同十四卯年迄
勘定帳
一昭和十五辰年ヨリ同十七午年迄
勘定帳
一昭和十八未年ヨリ同廿酉年迄
勘定帳
一昭和廿一戌年ヨリ同廿三子年迄
勘定帳
一昭和廿四丑年ヨリ同廿六卯年迄
勘定帳
一昭和廿七辰年ヨリ同廿九午年迄
勘定帳
一昭和三十未年ヨリ同卅二酉年迄
勘定帳
一昭和卅三戌年ヨリ同卅五子年迄
勘定帳
一昭和卅六丑年ヨリ同卅八卯年迄
勘定帳
一昭和卅九辰年ヨリ同四十午年迄
勘定帳
一昭和四十一未年ヨリ同四十三酉年迄
勘定帳
一昭和四十四戌年ヨリ同四十六子年迄
勘定帳
一昭和四十七丑年ヨリ同四十九卯年迄
勘定帳
一昭和五十辰年ヨリ同五十二午年迄
勘定帳
一昭和五十三未年ヨリ同五十五酉年迄
勘定帳
一昭和五十六戌年ヨリ同五十八子年迄
勘定帳
一昭和五十九丑年ヨリ同六十亥年迄
勘定帳
一昭和六十一寅年ヨリ平成二寅年迄
勘定帳
一平成三卯年ヨリ同五巳年迄
勘定帳
一平成六午年ヨリ同八申年迄
勘定帳
一平成九酉年ヨリ同十一亥年迄
勘定帳
一平成十二子年ヨリ同十四寅年迄
勘定帳
一平成十五卯年ヨリ同十七巳年迄
勘定帳
一平成十八午年ヨリ同廿申年迄
勘定帳
一平成廿一酉年ヨリ同廿三亥年迄
勘定帳
一平成廿四子年ヨリ同廿六寅年迄
勘定帳
一平成廿七卯年ヨリ同廿九巳年迄
勘定帳
一平成三十午年ヨリ同卅申年迄
勘定帳
一平成卅一酉年ヨリ同卅三亥年迄
勘定帳
一平成卅四子年ヨリ同卅六寅年迄
勘定帳
一平成卅七卯年ヨリ同卅九巳年迄
勘定帳
一平成四十午年ヨリ同四十二申年迄
勘定帳
一平成四十三酉年ヨリ同四十五亥年迄
勘定帳
一平成四十六子年ヨリ同四十八寅年迄
勘定帳
一平成四十九卯年ヨリ同五十巳年迄
勘定帳
一平成五十一午年ヨリ同五十三申年迄
勘定帳
一平成五十四酉年ヨリ同五十六亥年迄
勘定帳
一平成五十七子年ヨリ同五十九寅年迄
勘定帳
一平成六十卯年ヨリ令和二辰年迄
勘定帳
一令和三巳年ヨリ今ニ至ル勘定帳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

相済ミ

廿四日

一 当様御内之御役年ニ付候趣多賀江下候之御
代官之内より御出之と申候ニ付壱月廿六日
之内ニ而役料差出シ左京出テ受取申候

廿五日

一 御所守八兵衛殿御用ニ付壱番御所
方様より御出之参り候旁御払代相渡申候ニ而
壱貫五百目之内ニ而相払ひ御出候旁右承届候ニ付
左京出テ受取申候一日上納申候

廿八日

一 銀弐貫八百弐拾九匁
右七ヶ月分利銀百七拾壱匁三分
但し利足壱歩ニ而御座候
壱ヶ月十四匁五分
御用人 長崎

一 銀七百四拾匁
右七ヶ月分利銀五拾七匁三分五厘
但し利足壱歩ニ而相済
壱ヶ月八匁壱分九厘
右之通銀利足之元銀ニ差出 五月迄之利銀ニ付新証文
受取上ル 十二月ニ利銀二百五拾匁右証文相渡ス

廿九日

一 元銀弐貫目 此利銀弐百六拾目 但し閏月共
右御所御用人衆中より請取利銀ニ而相渡申候

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用